

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



写真・研究会の様子

■教育メディア開発利用研究会開催される

新しいメディアの教育利用の普及・振興を図ることを目的に、日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教具連合会、全国視聴覚教育連盟が会員を対象に共同で開催している本研究会が、平成26年5月28日(水)TKP虎ノ門会議室(東京都港区)にて開催された。「教育の情報化の動向と情報教育課の取り組み」をテーマに文部科学省生涯学習政策局情報教育課長・豊嶋基暢氏による講演(写真)が60名の参加者を得て行われた。

AV情報

■文化庁「平成26年度著作権セミナー」

文化庁では、著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的に標記セミナーを開催する。

〈期日・会場〉以下、全国12か所。

○平成26年7月28日(月)札幌ガーデンパレス(札幌市中央区北1条西6)

○平成27年2月6日(金)群馬会館(群馬県前橋市大手町2-1-1)

○平成26年12月12日(金)千葉市生涯学習センター(ホール・大研究室)(千葉市中央区弁天3-7-7)

○平成26年8月8日(金)新潟県立生涯学習推進センター(新潟市中央区女池南3-1-2)

○平成26年11月21日(金)アクトシティ浜松コンgresセンター(浜松市中区坂屋町111-1)

○平成26年8月21日(木)岐阜県総合教育センター(岐阜県岐阜市藪田南5-9-1)

○平成26年10月17日(金)ウイルあいち(愛知

県女性総合センター)(名古屋市東区上豎杉町1)

○平成26年8月5日(火)国際ファミリープラザ(鳥取県米子市加茂町2-180)

○平成26年10月7日(火)広島県情報プラザ(県立産業技術交流センター)(広島市中区千田町3-7-47)

○平成26年8月29日(金)愛媛大学(松山市文京町3)

○平成26年10月29日(水)高知会館(高知県高知市本町5-6-42)

○平成26年11月7日(金)自治研修所会議室(沖縄県那覇市西3-11-1)

詳細は、下記を参照のこと。

http://www.bunka.go.jp/chosakuken/seminar/26_chosaku_seminar_keikaku.html

〈問い合わせ先〉文化庁長官官房著作権課著作権普及係 TEL 03-5253-4111(内線3169)

■第22回3D&バーチャルリアリティ展

リードエグジビションジャパン(株)主催により、標記展示会が開催される。

〈日時〉平成26年6月25日(水)~27日(金) 10:00~18:00(27日(金)のみ17:00終了)

〈会場〉 東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）

〈内容〉 モーションキャプチャー、シミュレータ、AR/MR等の展示。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ivr.jp/>

〈問い合わせ先〉 3D&バーチャルリアリティ展事務局リードエグジビションジャパン(株)

TEL 03-3349-8506

研究会情報

■ 情報教育セミナー 2014

（公財）学習ソフトウェア情報研究センターでは、「タブレット端末活用と導入の現状と課題」をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉 平成26年7月29日（火）9:30～17:00

〈会場〉 機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8）

〈対象〉 小・中・高校の教員、教育研究機関・教育行政機関の職員、教育関係団体関係者

〈内容〉 基調講演「教育の情報化に対する文部科学省の施策」豊嶋基暢氏（文部科学省生涯学習政策局情報教育課長）、特別講演「デジタル時代における学びの場のデザイン」安西祐一郎氏（独）日本学術振興会理事長）等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.gakujoken.or.jp/ghp/seminer.html>

〈問い合わせ先〉（公財）学習ソフトウェア情報研究センター TEL 03-6205-4531

学会情報

■ 日本教育メディア学会2014年度第1回研究会

日本教育メディア学会では、「人・学校・周辺環境を結ぶICT活用の教育実践／一般」をテーマに標記研究会を開催する。

〈日時〉 平成26年7月13日（日）13:00～16:00

〈会場〉 長崎県立大学佐世保校本館1階102教室（長崎県佐世保市川下町123）

〈内容〉 学校教育に加え産学官協同事業のような協働活動や地域コミュニティの活性化などの社会貢献活動、社会で即戦力となる実践的教育活動が求められている。そこで情報機器を活用し、学習者と教育者とその周辺を結ぶ教育に関する議論を展開する。詳細は、下記を参照のこと。

<http://jaems.jp/>

〈問い合わせ先〉 日本教育メディア学会事務局
武蔵大学社会学部中橋研究室内 TEL 03-5984-4792

■ 日本教育工学会シンポジウム

日本教育工学会では、「スマホとSNS時代における情報モラル教育について」をテーマに標記シンポジウムを開催する。

〈日時〉 平成26年6月21日（土）14:00～16:00

〈会場〉 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 デジタル多目的ホール（東京都目黒区大岡山2-12-1）

〈内容〉 サブテーマ「ネットいじめ、ネット依存、ネット炎上等に教育工学会はどう対応するか」パネリスト：竹内和雄氏（兵庫県立大学）他。詳細は、下記を参照のこと。

https://www.jset.gr.jp/sympo/sympo_2014.html

〈問い合わせ先〉 日本教育工学会事務局

TEL 03-5740-9505

■ 全日本博物館学会第40回研究大会

全日本博物館学会は、標記研究大会・研究発表会を開催する。

〈日程〉 6月28日（土）・29日（日）

〈会場〉 明治大学駿河台校舎リバティタワー B1F1001教室（東京都千代田区神田駿河台1-1）

〈内容〉 「博物館と子どもたちの日常をつなぐー学習貸出パッケージの追跡アンケートの考察ー」、「博物館など体験型映像ディスプレイ『全天ドームスクリーン』における臨場感・没入感の研究」等、23の研究発表。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.museology.jp/index.html>

〈問い合わせ先〉 全日本博物館学会事務局

TEL 03-3296-4404

■ 情報メディア学会第13回研究大会

情報メディア学会では、「デジタル化を拒む素材とアウトリーチ」をテーマに標記大会を開催する。

〈日時〉 平成26年6月28日（土）9:30～18:00

〈会場〉（独）科学技術振興機構（東京都千代田区四番町5-3サイエンスプラザ）

〈内容〉 韓国、中国等に比べ、遅れる日本の電子化についての問題や解決策を模索する。パネルディスカッション、ポスター発表等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jsims.jp/kenkyu-taikai/yokoku/13.html#presenter>

〈問い合わせ先〉 情報メディア学会企画委員会

MAIL office@jsims.jp

コンクール情報

■ 第41回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

NHKでは、音と映像を用いた教育コンテンツの質の向上を図ることにより、世界の教育メディアの発展に資するとともに、国際的な理解と協力に貢献することを目的に、標記コンクールを実施するにあたり、作品を募集している。

〈応募資格〉 応募作品の著作権を有する放送事業者、ケーブルテレビジョン、映像制作プロダクション、コンテンツ制作団体、教育研究機関、非営利活動法人。個人による応募は受け付けない。

〈カテゴリ〉 対象年齢やテーマによる以下6つのカテゴリ。①幼児、②児童、③青少年、④生涯教育、⑤クリエイティブ・フロンティア

〈応募対象形態〉 A テレビ番組／映画／ビデオ、B ウェブサイト、C ゲーム／アプリケーションソフトウェア等、D クロスメディアコンテンツ。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.nhk.or.jp/jp-prize/index_j.html

〈賞〉 グランプリ日本賞、各カテゴリ最優秀賞、特別賞等。

〈締切〉 平成26年6月30日(月)必着。

〈問い合わせ先〉 NHK「日本賞」事務局
TEL 03-3465-6199

■ 第45回博報賞推薦受付

(公財)博報児童教育振興会では、次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰するための標記賞の推薦を受け付けている。

〈推薦対象〉 小・中学生を中心とする児童生徒を対象とした教育活動実践者。団体(小学校、中学校、研究団体、ボランティア団体など)、個人(実践活動を推進されている先生、研究者、ボランティアの方々など)

〈部門〉 国語・日本語教育部門、特別支援教育部門、日本文化理解教育部門、国際文化理解教育部門、教育活性化部門

〈推薦について〉 推薦資格のある方 都道府県市区町村教育長、教育事務所長、教育センター長、学校長会長、都道府県私学協会会長ほか。

〈贈呈数と内容〉 贈呈数 5部門合わせて20件前後。正賞 賞状、副賞100万円

〈推薦受付期間〉 平成26年6月30日(月)財団必着。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

〈問い合わせ先〉 (公財)博報児童教育振興会

TEL 03-5570-5008

■ 第3回One Minute Videoコンテスト作品募集

(公財)日本ユニセフ協会では、標記コンテスト実施にあたり、作品を募集している。

〈テーマ〉 「地球市民になろう—見つめよう、自分のこと、地球のこと—」

〈応募資格〉 小学生、中学生、高校生、大学生及び、本業として映像制作には関わっていない一般のアマチュアの方。

〈応募規定〉 作品時間は1分間。作品のアスペクト比は4:3に設定。世界中で視聴されることを意識した上で、作品を制作すること等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.unicef.or.jp/oneminute/join.html>

〈締切〉 平成26年7月21日(月)消印有効。

〈問い合わせ先〉 (公財)日本ユニセフ協会学校事業部内 One Minute Videoコンテスト事務局
TEL 03-5789-2014

文部科学省選定作品

■ 4月選定 紙しばい / ビデオ / DVD

「ニセモノばんざい」 12枚〈小学校低学年〉(株)童心社

「危険な目に あわないぞ!—ナナミババの青空防犯教室—」 18分〈小学校中・高学年、特別活動／少年、地域社会生活(交通安全・防犯)〉東映(株)
「imagination (イマジネーション)—想う つながる 一歩ふみだす—」 34分〈中学校・高等学校、特別活動／青年・成人、地域社会生活(人権)〉東映(株)

「サンタ・カンパニー」 28分〈幼児・少年、教養〉(株)KENJI STUDIO

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

寄贈図書資料

「北村山ICT活用事例集—北村山の実態に応じたICT活用」北村山視聴覚教育センター、2014年3月6日、A4判47頁

「岡崎の視聴覚教育45号」岡崎市視聴覚ライブラリー、2014年3月31日、A4判123頁